

放射能関係のお知らせ

2017年3月3回(C週)

お届け日:2017/3/13～3/17

発行日:2017/2/13



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/2/23(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果実	いちご	品目で検査済	たまつくり・とちのみ・はが野・うつのみや・佐原・海上・遠州
	キウイ	品目で検査済	有機農法ギルド・小田原・やはた会
	清見オレンジ	柑橘類で検査 検査予定	久望・南伊豆 小田原
	ゴールドオレンジ	品目で検査済	小田原
	不知火	品目で検査済	小田原・久望
	はっさく	品目で検査済	小田原
	はるか	品目で検査済	久望
	りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園
果菜	きゅうり	品目で検査済	茨城・野菜くらぶ・邑楽館林・村悟空・サンド旭・和郷
		果菜類で検査済	沃土・佐原
	スナッペンとう	品目で検査済	南伊豆
	トマト	品目で検査済	谷田部・茨城・たまつくり・うつのみや・野菜くらぶ・沃土
		果菜類で検査済	元気会・村悟空・佐原・いちかわ
	ミニトマト	品目で検査済	あゆみの会・元気会・サンド旭・和郷
		果菜類で検査済	茨城・野菜くらぶ・沃土・村悟空
	アスパラ	品目で検査済	うつのみや・利根沼田
	大葉	品目で査済	和郷
葉菜	かき菜	葉菜類で検査済	谷田部・野菜くらぶ・沃土
	キャベツ	品目で検査済	三浦EM・遠州
		葉菜類で検査済	野菜くらぶ・沃土・村悟空・海上・佐原・和郷・三浦市・南伊豆
		検査予定	よこすか葉山
	小松菜	品目で検査済	茨城・有機農法ギルド・野菜くらぶ・群馬モグラ・沃土・南埼玉・佐原・風土の会
		葉菜類で検査済	谷田部・たまつくり・八街・和郷
	サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・常総産直・野菜くらぶ・海上・風土の会
	たらの芽	品目で検査済	丸公
	チンゲン菜	品目で検査済	こまち・佐原
		葉菜類で検査済	茨城・あゆみの会・沃土・和郷・遠州
	にら	品目で検査済	元気会
		葉菜類で検査済	茨城・野菜くらぶ・和郷
	ねぎ	品目で検査済	常総・八街・南埼玉
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・やさと・利根川・沃土・村悟空・佐原・風土の会
	葉ねぎ	品目で検査済	村悟空・南伊豆
		葉菜類で検査済	谷田部・沃土・海上・佐原・サンド旭
	ブロッコリー	品目で検査済	野菜くらぶ・沃土・南埼玉・海上・佐原
	ベビーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー
	ほうれん草	品目で検査済	うつのみや・草の会・沃土
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・常総産直・やさと・利根川・野菜くらぶ・佐原・八街・和郷・風土の会

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	みず菜	品目で検査済	ふきのとう
		葉菜類で検査済	谷田部・沃土・茨城・佐原
	ミックスカールスプラウト	品目で検査済	フェニクス
	ルッコラ	葉菜類で検査済	茨城・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済	やさと・野菜くらぶ・和郷・サンド旭
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・常総産直・沃土・南埼玉・海上・佐原・八街
	山うど	葉菜類で検査済	利根沼田
	若芽ひじき	品目で検査済	寺島
根菜	かぶ	品目で検査済	谷田部・たまつくり・沃土・八街・佐原
		根菜類で検査済	海上・和郷
	さつまいも	品目で検査済	常総・谷田部・たまつくり・佐原・和郷
		根菜類で検査済	茨城
	しょうが	品目で検査済	村悟空
		根菜類で検査済	和郷
	大根	品目で検査済	海上・佐原・和郷・三浦EM
		根菜類で検査済	村悟空
	長芋	根菜類で検査済	茨城
	人参	品目で検査済	常総・あゆみの会・和郷・風土の会・清瀬
		根菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・やさと・沃土・海上・佐原・農法の会・八街
	にんにく	品目で検査済	八峰園・田子
	れんこん	品目で検査済	常総(3検体中2検体)・新ひたち野・あゆみの会・佐原
		検査予定	たまつくり

●2016 年産米の検査

検査対象の産直産地のお米の検査を玄米で行い、検査は全産地終了しました。
2016 年産の下記の産地・銘柄は、すべて不検出です。

青森県: JA津軽みらいの青森つがるロマン
岩手県: JAいわて花巻の岩手ひとめぼれ、JA新しいわたの岩手いわてっこ
宮城県: JAみどりのの宮城ひとめぼれ
秋田県: JAこまちの秋田あきたこまち・オーリア 21 の秋田あきたこまち・花咲農園の秋田あきたこまち・JA秋田ふるさとの秋田あきたこまち、JAかづのの秋田淡雪こまち
山形県: JA庄内たがわの山形はえぬき、JA山形おきたまの山形ササニシキ、庄内協同ファームの山形つや姫
福島県: JA会津よつばの会津こしひかり
新潟県: JA 北蒲みなみの新潟こしひかり・JA ささかみの新潟こしいぶき・JAにいがた南蒲の新潟こしひかり・JA 魚沼みなみの魚沼こしひかり・JA えちご上越の新潟こしひかり・謙信の郷の新潟こしひかり・JA 佐渡の佐渡こしひかり
茨城県: JAつくば市谷田部の茨城こしひかり
栃木県: 日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(19 検体中 17 検体不検出 2 検体は白米で検査を行い不検出)
千葉県: JA君津市の千葉ふさおとめ・ちば緑耕舎の千葉こしひかり
埼玉県: 南埼玉産直ネットワークの彩のかがやき
長野県: JA佐久浅間の長野こしひかり
放射能は玄米のぬかにたまる傾向があります。玄米で検査後、供給は白米および玄米で行います。

●青果以外の牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。

* 酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
生きくらげ	品目で検査済	きのこ総研
なめこ	品目で検査済	谷田部
まいたけ	品目で検査済	雪国
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済	谷田部 *しいたけ・しめじから放射能が検出されました

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/2/22	13
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
しめじ(ひらたけ)	谷田部	2016/12/14	3.0
谷田部の若手生産者きのこセットのしめじ			
ぶなしめじ	谷田部	2016/12/14	3.1
れんこん(3 検体中 1 件)	常総	2017/2/3	6.1
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

* 2017/2/22 の検査では、「しめじ(ひらたけ)」および「ぶなしめじ」からの放射能の検出はありませんでした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
コアフード栃木こしひかり(玄米)	日本の稲作を守る会	2016/10/21	3.9
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

* 白米では不検出でした

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコト きなり 249 339	もやしと豚肉のチャンプ ルーセットのしいたけ	2017/1/30	4.6
コトコト きなり 111121 340	鶏肉のチンジャオロ ースセットのしいたけ		
コトコト きなり 261 -	鶏だんごと春雨の白湯 スープセットのしいたけ		
パルシステムの独自ガイドライン			
政府の基準値		100	

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
根菜・いも類	いも類	さつまいも、里芋など

●青果の検査について

* 北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州 17 都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
* 旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになりますが、それ以外はおおよそ半年に1 回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
* 検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。
* yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値 1Bq/kg で検査を行っています。

2016 年 4 月から 2017 年 1 月末までの
水産庁検査の放射能検出状況

2017 年 2 月 8 日に、2016 年度に計測した放射能の検査の一覧を水産庁は発表しています。http://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html

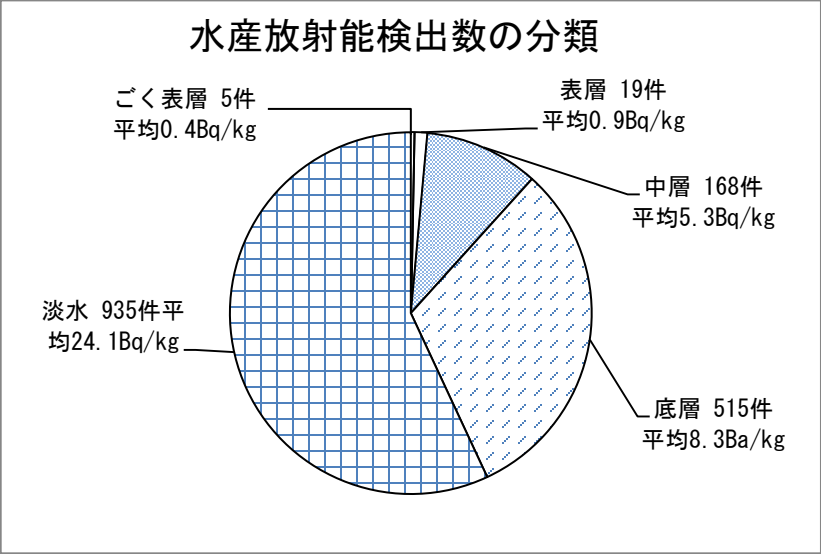
2016 年 4 月から検査を行った総検査数は、15,316 件です。そのうち、放射能の検出があるのは、1,655 件でした。検出率は 10.8%。検出された放射能は、平均して 16.79Bq/kg です。検出下限値は、0.047～10Bq/kg と様々です。

水産庁では、魚介類を棲んでいる海層に分類して検索できるようにしています。

淡水と海産物の場合は、ごく表層、表層、中層、底層と分類されています。

その他の分類では、海藻、無脊椎動物(カニ・エビ)、哺乳類(クジラ)の 3 つを掲載しています。

淡水と海産物の検出状況は以下のようになっています。



淡水からの放射能の検出が多く、さらに放射能の検出された検出数値の平均も高くなっています。100Bq/kg の国の規格基準を超えて検出されたのは、すべて淡水産水産物で、

イワナ:岩手県一関市内 170、130Bq/kg
ヤマメ:福島県田村市(阿武隈川水系) 170、160、150、110Bq/kg、
ウナギ:千葉県手賀沼 140Bq/kg
コイ:千葉県手賀沼 120Bq/kg
イワナ:群馬県中之条町(上沢渡川) 120Bq/kg
ブラウントラウト:栃木県日光市(中禅寺湖) 110Bq/kg

でした。

海産物の各階層で最も高い放射能が検出されたのはそれぞれ

ごく表層では、シラス 日立市沖 0.87Bq/kg
表層では、カタクチイワシ 福島県沖 9.1Bq/kg
中層では、スズキ 福島県沖 87Bq/kg
底層では、クロダイ 日立市沖 80Bq/kg

という結果でした。

淡水産水産物は放射能を検出しやすい傾向があり、海産物では、海の中層および底層に放射能が検出しやすい魚種がみられます。

海藻では、合計 4 件が検出されており、福島県沖で養殖しているヒトエグサ(青のりとして流通)から 3.4～4.8Bq/kg 検出されています。

エビ・カニなどの無脊椎動物から 5 件検出されており、福島県で採取されたウチダザリガニ(淡水生息)が 18Bq/kg で最高でした。

水産物関係は今後も注意が必要になっています。

*ここでは、「放射能」を放射性物質および放射線を出す能力の両方の意味で使用しています。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 1019)」(2016/10/25～2017/2/3 で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 以上検出された検体です。
イノシシ肉:栃木県那珂川町 250、210、190、170、140、130、110Bq/kg
国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された上位数点です。
原木シイタケ:千葉県山武市・岩手県大槌町ほか 5.5～50Bq/kg
イノシシ肉:栃木県那珂川町・益子町ほか 8.6～65Bq/kg
- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された 20Bq/kg 以上の検体です。
アイナメ(海の魚):福島県南相馬市 23Bq/kg

2月の放射能検査状況

2 月 17 日までの検査で、**青果**から**れんこん**が 1 件(6.1Bq/kg)、**しいたけ**から、**しいたけ(原木栽培)**が 2 件(6.5、12Bq/kg)、**お料理セットのしいたけ水煮**が 1 件(3.5Bq/kg)の検出がありました。鶏卵の検査を終了しました。鶏卵からの放射能の検出はありませんでした。

乳幼児用食品は、検出下限値を4月から1Bq/kg に下げましたが、現在まですべて不検出です。**検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。**

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	2 月	2 月の検出内容		2 月
青果	11 (1)	れんこん 6.1Bq/kg	卵	0 (0)
しいたけ	6 (3)	原木しいたけ 6.5、12Bq/kg お料理セットのしいたけ水煮 3.5Bq/kg	魚介類	15 (0)
その他のきのこ類	3 (0)		飲料水・飲料	7 (0)
米・米飯類	0 (0)		乳幼児用食品	6 (0)
牛乳・乳製品	3 (0)		その他加工食品	170 (0)
肉類	0 (0)		合計	221 (4)

2016年度の放射能検査の状況(2016 年 4 月～2017 年 2 月)

青果	2016 年 5 月に小田原のバレンシアオレンジの 3 件中 1 件から 3.2Bq/kg が検出されました。2017 年 2 月に常総センターの れんこん で3件中1件(6.1Bq/kg)から放射能が検出されましたが、自主基準内でした。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1～12Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3.0～3.5Bq/kg)、ぶなしめじが(3.1Bq/kg)で、放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016 年産米の検査は 26 産地 67 検体の検査を行いました。日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2 件(3.9、4.1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。 米の検査は全産地終了しました。 *放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.4～11Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものとがありますが、放射能は検出されていません。 <その他> 2016 年 11 月にサプリメントのブルーベリー & ルティン(6.5Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます。

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134,137 の合計)			国の規格基準	
2014 年 10 月より現行基準	現	旧		
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10	
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	乳児用食品、牛乳 50	
しいたけ	100	100	一般食品 100	

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位 Bq/kg)
乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

検出限界(セシウム 134, 137 それぞれ)		
2016 年 4 月 1 日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以东の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物